

令和5年度 学校自己評価システムシート (県立浦和商业高等学校)

目指す学校像	グローバルに展開する経済社会において、多様な分野で幅広く活躍する商業人材の育成
--------	---

重点目標	1 資格取得などの段階的な目標設定を通じて高度な知識・技能の習得を図るとともに、応用力・創造力を育む探究活動を通じてたくましく生き抜く力を養う。 2 地域の中核を担う商業高校として、教育活動の充実を図り、魅力ある商業教育を推進する 3 キャリア教育を推進し、社会人として必要な知識・技能や教養とマナーを身に付け、規範意識を持ち、生涯にわたり主体的に行動できる人材を育成する
------	--

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校評議員	名
	生徒	名
	事務局(教職員)	名

学 校 自 己 評 価							学 校 関 係 者 評 価		
年 度 目 標					令和5年度評価(令和6年 月 日 現在)		実 施 日 令和6年 月 日		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	学校関係者からの意見・要望・評価等	
1	【たくましく生き抜く力の養成】 ○ [現状] 授業互見とそのフィードバックが不足していること [課題] 学習評価の改善と授業改善が必要であること ● (現状) 生徒のアウトプット活動(記述・議論・発表など)の活性化と、教科等横断的な外部連携授業の実施が一層必要であること (課題) 主体的・実践的な学びの充実に向け、生徒の相互通行のアウトプット活動の活性化と、外部連携の充実	○ 観点別学習状況の評価の着実・効果的な実施を図るとともに、授業互見の活性化により指導と評価の一体化を推進する。 ● 生徒のアウトプット活動の活性化による主体的学びの充実と、外部連携活動による実践的な学びを推進する。	○ 観点別学習状況の評価に関する評価・改善の実施(毎学期) ・授業互見とフィードバックによる授業改善の実施(毎学期) ● 生徒のアウトプット活動の活性化(毎学期) ・アウトプット活動を効果的にする、相互通行のICT活用による実践的な学び(毎学期) ・外部連携活動の実施(毎学期)	○ 学習評価の改善について、6割以上の達成度や経時的上昇が見られるか(毎学期)。 ・教職員一人当たり、平均年2回以上の授業見学とフィードバックが実施できたか。 ● アウトプット活動の充実について、6割以上の達成度や経時的上昇があるか(毎学期)。 ・相互通行のICT利用度が日常的になったか(毎学期)。 ・教職員一人当たり、平均年2回以上の外部連携活動が実施できたか。					
2	【魅力ある商業教育の推進】 ○ [現状] 学校の魅力について、効果的情報発信や相互通行の情報共有が求められていること [課題] 出前授業・動画公開・生徒・保護者を前面に出す学校説明会等の実施による、説明会等参加者数と希望・志願倍率の増加 ● [現状] 目指す学校像などの学校が掲げる目標に準拠した、予算の執行と経費削減が求められていること [課題] 教育目標を実現する、県費・団体費予算の効果的・効率的な執行	○ 学校の魅力の発信や情報共有を推進するため、出前授業・動画公開・生徒や保護者を前面に出す学校説明会を実施する。 ● 教育目標を実現する、県費・団体費予算の効果的・効率的な執行と経費削減を図る。	○ 生徒・保護者を前面に出す学校説明会の実施(実施毎) ・出前授業等や動画公開の複数回実施(実施毎) ・学校説明会等の参加組数増加 ・希望倍率・最終志願倍率の上昇 ● 目標の準拠した起案・決裁・執行(実施毎) ・経費の削減(毎学期)	○ 生徒や保護者を前面に出す学校説明会等が実施できたか(実施毎)。 ・出前授業等や動画公開を複数回効果的に実施できたか(実施毎)。 ・学校説明会等の純参加600組以上が達成できたか。 ・希望倍率(10・12月)と最終志願倍率が前年度比上昇しているか。 ● 目標に準拠した起案・決裁・執行が行われているか。(実施毎) ・経費削減について、6割以上の達成度や経時的上昇があるか(毎学期)。					
3	【主体的に行動できる人材の育成】 ○ [現状] 生徒のキャリア形成のため、キャリア・パスポートの一層の有効活用が求められていること [課題] キャリア・パスポートの一層の有効活用 ● [現状] 効果的なキャリア教育の推進のため、支援ツール(生徒手帳・学習の手引き・スタサポ等)の連携が求められていること [課題] キャリアパスを中心とした、支援ツールの効果的な連携	○ キャリアパスポート(キャリアパス)の一層の有効活用により、生徒のキャリア形成を図る。 ● キャリアパスを中心とした支援ツールの効果的な連携により、キャリア教育を効果的に推進する。	○ キャリアパスの有効活用(毎学期) ● キャリアパスを中心とした支援ツールの効果的な連携(毎学期)	○ キャリアパスの有効活用について、6割以上の達成度や経時的上昇が見られるか(毎学期)。 ● キャリアパスを中心とした支援ツールの効果的な連携について、6割以上の達成度や経時的上昇が見られるか(毎学期)。					